

「生活防災」をやるう！

加古川グリーンシティ防災会

「防災活動」を継続するために

- 災害による被害は、人それぞれで
個々に違い、決して一律ではない！
- 極めて、特殊で個別的
- 同じ災害から、千差万別、異なる被害が発生する
- 隣の家の人とでも「受ける被害」は違う！
- 災害が被災者にもたらす影響は……
- 最終的に、個々の人の「災害対応力」と「運」
- 自分では制御できない「幸運」を味方につける必要！
- その為に、「継続した備え」が必要
- 備えあれば憂いなし！
- 毎日の備えが、「幸運を引き寄せる！」

ふたつの「運」

- 「運」の引き寄せ方は？
- 「幸運」は、
- 自分自身が持つ「興味力」の中にある
- 探そうとしなければ・・・見つからないもの！
- 例えば、「救命講習を受講するとAEDが目につく」
- 「地震が続けば、耐震化」の必要性も感じる
- 生き残る為の少しだけ努力
- 理解していれば助かることがある
- 日常の暮らしの中で「防災アンテナ」を！
- 「意識を持つことの大切さ」を！
- 次の一枚の写真を！







クローバーから学ぶ

- 気にしないで通り過ぎれば見過ごしてしまう
- ふと目に止まり「雑草」と思う人もいれば
- 「あっクローバーだ」と思う人もいる
- クローバーだと気が付いた人は
- 意識せずとも目が「四つ葉」を探しはじめる
- 幸運な人、注意深い人、根気強い人
- こんな人たちは「四つ葉のクローバー」を探し当てる！
- 防災も同じ、
- **少しだけの「興味力」が幸運を招く**
- **防災にも少しだけ興味を持ってみよう！**

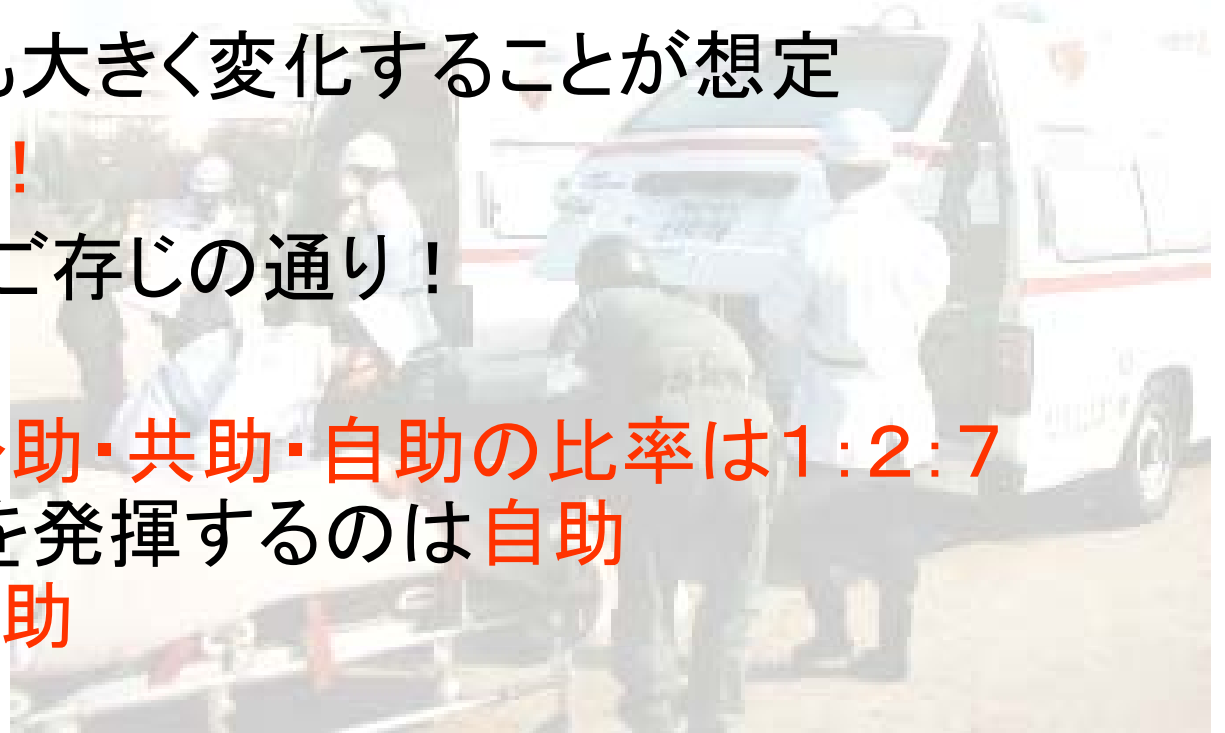
生活防災は新しいスタイルの防災活動

- 現実の流れ → 防災学 防災研究
- でも、それがそのまま地域防災や
自主防災には絶対にならない
- 防災の主演は・・・一般市民（我々だ）
- その人たちの心の底に訴えなければ何も変わらない
- しかめ面ではなく → 楽しくてワクワクするものを提供
- 本当に求められているもの・・・
地域コミュニティ力であり、地域防災力、自主防災力！
- 楽しくなければ、何事も継続しない！
- 「自分が犠牲になってやっている」
そんな気持ちでは絶対にダメ！
- 「楽しもうよ、防災を！」



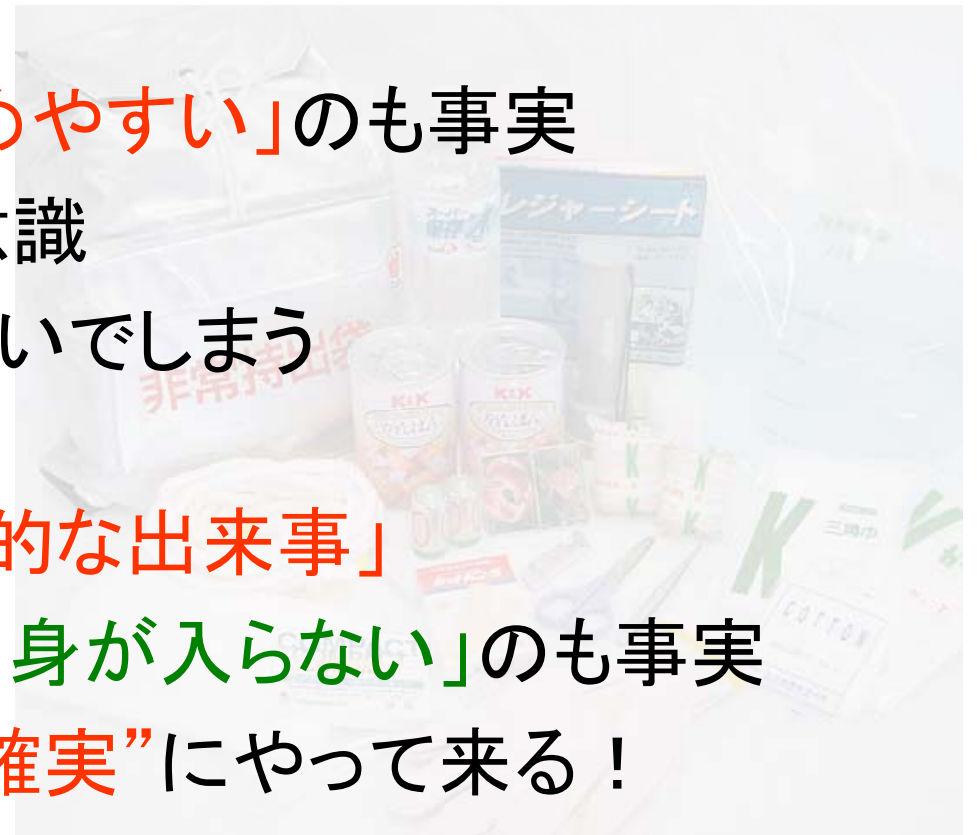
なぜ？一般市民が防災の備えを？

- 地域における防災がなぜ大切なのか？
- 地震などの災害が起きる→行政などの公助
災害を受けた現場に速やかに到達することはむずかしい
- 行政は被害の状況などを正確に把握しなければ動けない！
被災地の情報掌握に時間がかかる(過去の災害から)
- 平常時でも救急車が現場到着に6分程度の時間を要する
- 災害時、道路の状況も大きく変化することが想定
- 災害現場→同時多発！
- 阪神淡路大震災時はご存じの通り！
- 過去のデータより
救助活動における公助・共助・自助の比率は1:2:7
災害時にもっとも力を発揮するのは自助
ご近所の力による共助



あなたは防災活動を継続できています

- 災害に相次いで見舞われると
 - 多くの人々が「何か対策をしなくては」・・・**一時的**
 - 懐中電灯や保存食品を買い求める人が増える
 - 住宅の耐震診断・耐震補強や地震保険の契約を検討する人もいる
- 防災意識は、「**熱しやすく冷めやすい**」のも事実
- いったん高まった災害への意識
 - やがて潮が引くように薄らいでしまう
- いくら頻発すると言っても
所詮、災害は「**非日常的な出来事**」
- 「防災対策には真剣さもなく、身が入らない」のも事実
- そして“**災害**”は忘れたころ“**確実**”にやって来る！



普段の生活に防災を！

- そんな災害にうまく備える対策方法はないのか？
 - 残念ながら・・・**特効薬はない**
- でも問題解決へ向けたヒントは身の回りにたくさんある
 - 防災の為の工夫を**普段の生活**に組み込んでしまう
- このような考え方を、「**生活防災**」と呼ぶ
 - 京都大学 防災研究所 矢守克也教授推奨
- 「**生活防災**」と「**生活防水**」
- 生活防災とは、生活防水のようなもの
- ダイバーズウォッチのように深海まで潜れない
- しかし、時計をつけたまま手を洗ったり、お風呂に入ったり
- でも大丈夫「生活防水」だから！
- 「生活防災」も同じ、大変難しい専門的なスキルはなくても
- 「死なない対策は出来ている」これが「生活防災」だ



「生活防災」の基本精神

- **生活防災の基本**
自分の「できることから」「関心のあることから」はじめる
- 私たちは考えました「**町内チャンピオンマップ**」
- 住民が災害時に自分が提供可能な能力・サービスを事前に登録
 - 医療や看護の技術、大型車両の運転といった防災に直結すること
 - ゴミの分別、買い物や子守り、インターネットによる情報収集や発信等々、後方支援に関する登録を推奨
- 実際に被災地では、こういった種類のお手伝いがとても大切
- 重要なこと→**普段本人がやっていることを登録しているという点**
 - ドライバーは運転、幼い子どもをもつ保護者は子どもの世話、パソコンが趣味の人はインターネット操作というように、
 - **ふだんの得意技**を生すだけのこと！
- もっとも、「**だけのこと**」とは・・・
 - **そんなことでいいなら、自分にも防災はできるはず！**

最高の「生活防災活動」

- あいさつ運動
 - あいさつ運動 ← これから始める
 - あいさつ運動 ← できなければ何もはじまらない
- 初動体制の構築になる
 - あいさつが自分の大切な人を守る
 - あいさつは最大の防御
 - あいさつは最高の攻撃
- 安否確認の軽減になる
 - 名簿が無くても！
- **地域防災力の構築**



簡単に「生活防災」

- 防災は、消火訓練や救命救急の**スキル**だけで成り立っているわけではない(もちろん、それも大事だ)
- しかし、防災を普段の生活から引きはなして
- **防災活動などと特別な活動に**してしまうと…
 - **人が寄ってこなくなる！**
- **災害の為だけに保存食品を**買い込んでしまうと…
 - **腐らせてしまう！**
- 普段から自分が好んで食べるもの(あまり腐りやすい食品は不可)
- ちょっと余分に買っておくだけでいい
 - 先に買ったものから食べる→食べたら、普段の買い物を通して補充
- 防災を**日常生活の延長線上**に位置づける
- 普段の生活の中に組み入れることができれば**長続き**
 - 長続きすれば…**忘れたころに災害に不意打ちされる心配も減る**

手腕、技量
訓練によって得られる
特殊な技能や技術

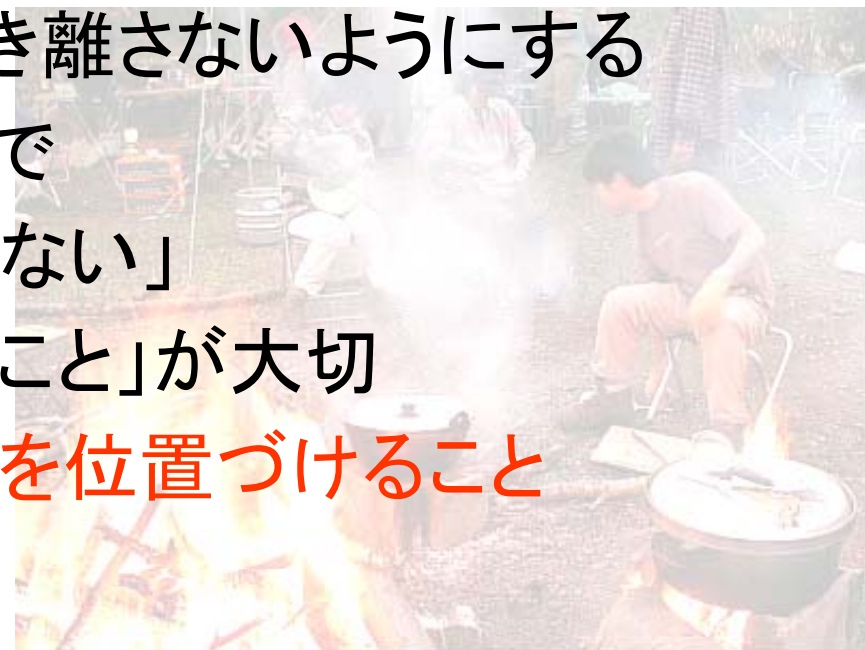
防災だけに特化せず！

- 平常時と災害時の両方で役立つハードとソフト整備
- 日常生活の中で考える
- 生活の上での「利便性」＋災害からの「危険回避」
- 両方で恩恵を得られるようにすることを考える
- 逆に言えば、
「災害対策の為だけに活動する必要はない」
- 普段の生活の延長線上に
防災を位置づけることが大切！
- それが「生活防災」というもの

生活防災の基本

- **生活防災の基本**

- 自分の「できることから」「関心のあることから」はじめる
- 防災を他から独立させた活動にしない
- 言い換えれば、普段の生活の中に防災を組み込む
 - 仕事・家事・勉強・福祉・環境・趣味
 - お祭・レジャー・スポーツ・イベント
- 「防災」を自分の生活習慣から引き離さないようにする
- 災害は「**非日常的な出来事**」なので
- 「防災には真剣さもなく、身が入らない」
- だから「**日常的なものにしてしまうこと**」が大切
- **普段の生活の延長線上に「防災」を位置づけること**



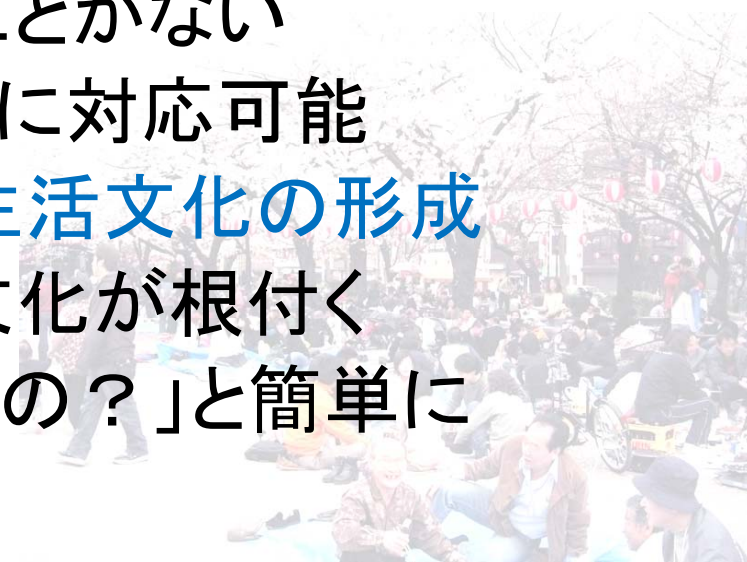
生活防災の実践

- 日々の生活の中
 - 普段の生活の利便さに「**組み込み置き換える**」
 - 非日常的な災害時や緊急時の活動だけと考えない
 - 日常化された「**習慣の中に組み込む**」
 - 防災の為とは「意識しない」「**意識させない**」
- チームで、みんなで、一緒にやることが大切
 - みんなでやれば、「**すごく楽しい**」
 - 他の人と話し → 自分の知識やスキルもアップ
 - 自分を守ることに間違いなくつながる
- 繰り返し行うことも大切
 - **毎年、毎月、毎週、毎日**
 - 自分や地域の生活文化になっていくようにすること
 - **習慣**になると自然と考え動けるようになる

生活防災の実践（具体的には、自分の生活に定着させる方法）

- 住居内の整理・整頓
 - 日常的に快適な生活が過ごせる
 - 落下物の防止や避難路確保ができています
- 家族間のあいさつは必需品
 - 行き先の確認・居場所の確認（携帯は事後確認手段）
 - 災害時の安否確認をする上での負担軽減になる
- 散歩・徒歩でのお買い物
 - 地域を知る・健康増進につながる
 - 危険箇所の把握や緊急時利用資源の確認
- お風呂の水
 - 普段では、洗濯水の確保・・・水道代を安く
 - 流さずにおいておく・・・災害時トイレの水確保
- 保存食
 - 普段では、家族の好物・・・楽しく晩酌、食べたらいり足す
 - 好きな缶詰を購入・・・災害時の非常食の確保

- **地域内コミュニケーション**
 - **ご近所のあいさつ**
 - 近隣のコミュニティ強化
 - 地域の防犯力向上
 - あいさつがあると楽しい、ワクワクする
 - 災害時の共助の基盤づくり・・・初動体制の構築
 - **上手く機能する初動**
 - どののだれか判らないようなことがない
 - 一分一秒をあらそう時に即座に対応可能
 - **お祭やイベントなどは長期的な生活文化の形成**
 - みんなでやると楽しいと言う文化が根付く
 - 防災訓練も「こんなことでよいの？」と簡単に



- 迷惑駐車対策
 - 道路閉塞(へいそく)防止・避難路の確保
 - 緊急車両進入路確保・・・緊急車両の通路確保
- ゴミの出し方(分別・ルール)
 - ゴミの減量
 - 資源の再利用
 - 環境保全
 - 災害時の廃棄物処理の軽減
- マナーを守る
 - 最初は住みにくいように感じる
→ 身勝手なことはできない
 - お互いのゆずり合い
 - 災害時でも普段通りに歩み寄りの精神で共助へ向かう

- 日頃のお付き合いが命を守る？
- 普段の平穏な生活では判らない何かが潜む！



山田さん



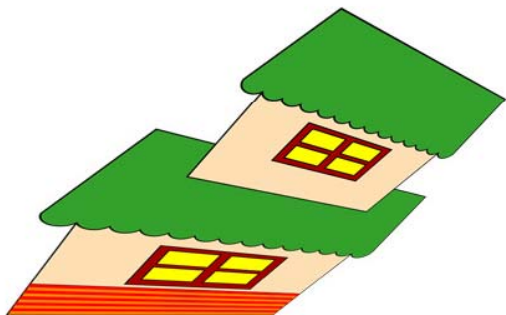
あなたの家



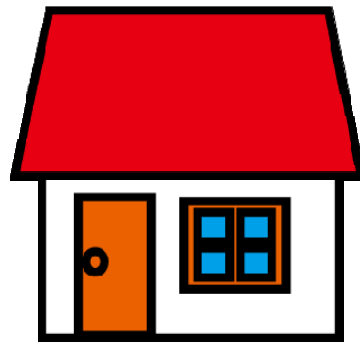
鈴木さん

大地震発生

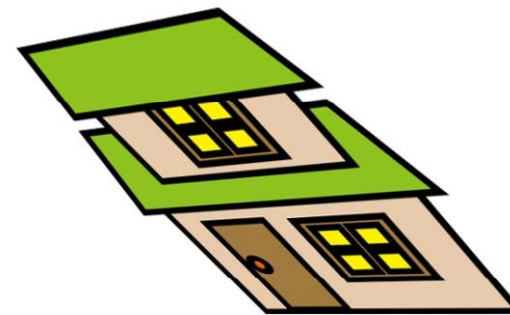
- 大地震発生、私の家は大丈夫だ！
- ところが両隣とも家が倒壊してしまっている！
- さて、あなたはどちらから？



山田さん



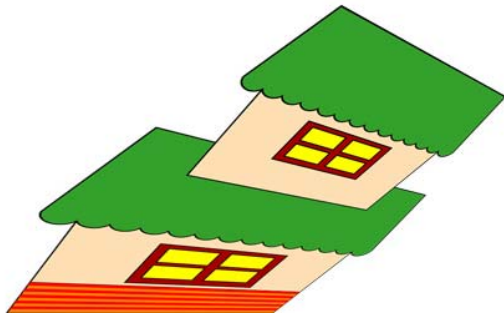
あなたの家



鈴木さん

- 鈴木さんから？ 山田さんから？

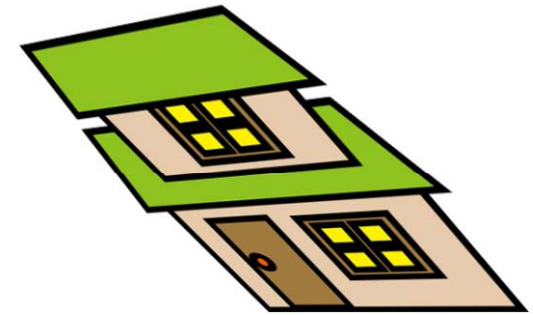
- あなたはどちらから救助に向かうの？



山田さん



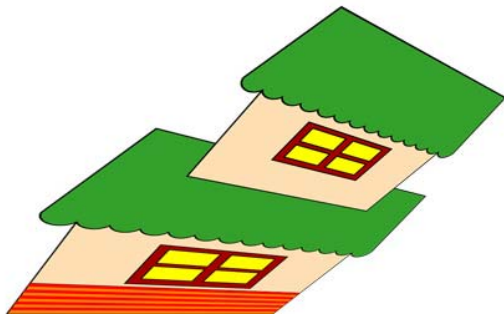
あなたの家



鈴木さん

- あなたは、鈴木さんから？ 山田さんから？

- あなたはどちらから救助に向かうの？



山田さん

- ・いつも挨拶がある
- ・旅行に行けば「お土産」



あなたの家



鈴木さん

- ・普段から挨拶しない
- ・隠れて出かける



鈴木さんから？ 山田さんから？



心遣いが生活防災

- 「人への心遣い」が自分を守ることになる
- 更には家族、自分の大切な人を守ることになる
- 心遣い(旅行のおみやげ)→「ありがとう」・「感謝」
- 良好の近所付き合い
- → 醤油や味噌の貸し借り
- こんな言葉が昔から・・・
- 「お互い様」
- これって、究極の「互助・共助」
- その為にすることがある！！！！
- 自分のもつ「情報の共有」
- 近所の人「間取りを知る」
- 他の人が「自分の動きやスケジュールを知っている」
- 災害発生時「安否確認の軽減に役立つ」



生活防災のすすめ

つづく